

会 議 録

会議名	第 2 1 回松本市地域公共交通協議会
日 時	令和 2 年 1 1 月 2 5 日 (水) 午前 9 時～1 0 時
場 所	松本市勤労者福祉センター 2-2 会議室
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 会議事項 松本地域公共交通計画の方向性について 4 その他 5 閉 会
出席者 (敬称略)	<p>【会長】 高瀬 達夫 (信州大学工学部)</p> <p>【副会長】 内山 博行 (松本市町会連合会)</p> <p>【委員】 中嶋 政幸 (国土交通省関東地方整備局長野国道事務所) (代理：堀内 哲夫)</p> <p> 芦澤 千恵子 (国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局)</p> <p> 小林 伸行 (長野県企画振興部交通政策課)</p> <p> 兵藤 裕一 (長野県松本地域振興局企画振興課) (代理：森山 一沙)</p> <p> 丸山 泰正 (長野県松本建設事務所維持管理課)</p> <p> 蓑部 孝志 (長野県松本警察署交通第二課)</p> <p> 赤廣 三郎 (松本商工会議所)</p> <p> 園田 弘世 (東日本旅客鉄道株式会社長野支社)</p> <p> 二條 宏昭 (アルピコ交通株式会社)</p> <p> 大内 清彦 (アルピコ労働組合松本電気鉄道支部)</p> <p> 櫻井 和人 (松本地区ハイタク労働組合会議)</p> <p> 草深 邦子 (松本市民生委員・児童委員協議会)</p> <p> 上條 尚義 (西部地域代表)</p> <p> 土田 淳一 (西部地域代表)</p> <p> 丸山 則行 (四賀地域代表)</p> <p> 藤沢 洋史 (山形村) (代理：山本 瑞季)</p> <p> 上條 晴彦 (朝日村)</p> <p> 小林 浩之 (松本市)</p> <p> (欠席者 5 名)</p> <p>【委託業者】 特定非営利活動法人 SCOP</p> <p>【事務局】 松本市 建設部 公共交通・渋滞対策課</p>

資 料	<p>1 次第</p> <p>2 「松本地域公共交通計画」に係る調査中間報告 (資料1)</p> <p>3 「松本市地域公共交通網形成計画」の評価 (資料2)</p> <p>4 調査結果からみえた課題及び計画における検討事項 (資料3)</p>
議 事	<p>1 協議事項</p> <p>松本地域公共交通計画の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ SCOP: 資料に基づき説明 ○ 委 員: 自動車の分担率について、平成 20 年度と同水準とのことであるが、トリップ数としての増減はどうか。 ○ SCOP: 平成 20 年度の資料手元になく、比較できない。 ○ 委 員: 自動車分担率に変化がなくても、トリップ数は増加しているかもしれない。 ○ 委 員: 交通不便者が 23.4%とのことだが、何歳からカウントしているのか。 ○ SCOP: パーソントリップ調査の中で 5 歳から調査対象としているので、5 歳から高齢者までを調査対象としている。 ○ 委 員: 5 歳から 10 歳くらいまでを交通不便者にいれてよいのか。また、中学生、高校生が使う自転車は自由に利用できる交通手段だと思うが。 本当の意味で交通不便者が 23.4%もいるのであれば、公共交通が使われていないというのが明確になると思う。その辺が不明瞭である。 本当の意味で公共交通を必要としている人が明確になれば、もっと公共交通が使われていてもおかしくない。 真の意味での交通不便者をターゲットにした方がよい。 ○ 委 員: 車の移動から公共交通に変えたいとあるが、主に何に変えたいのか。 ○ 事 務 局: 鉄道、バス等、全ての公共交通に変えたいと考える。 ○ 委 員: 今回のコンセプトは、交通不便者の方が利用できる公共交通を作るのか、車の移動を転換させたいのか不明瞭。その点はどうか。 ○ 事 務 局: 自由に利用できる移動手段を持たない人を移動させることは重要なことであるため、移動手段を考えていかなければいけない。 その上で、車で移動している人も公共交通を使ってもらうことによって、公共交通の維持にも繋がり交通不便者の移動手段の確保にも繋がると考える。したがって、両面で考えてく必要があると考える。 ○ 委 員: その場合、車で移動している人を転換させるには、サービスレベルを上げないといけない。交通不便者に対しては、ニーズに合うサービスレベルであれば利用してもらえらる。そのサービスレベルの差をどのように合わせていくのか。 ○ 事 務 局: 中心市街地へ向かっているアルピコ交通の基幹路線については、料金、ダイヤ等、公設民営として利用してもらえらるサービスレベ

ルを検討する必要があると考える。

地域内の移動については、そこまでのサービスレベルは必要ないと考える。地域、実情に応じて検討する必要があると考える。

- 委 員：地域公共交通網形成計画での実施できなかった事業について、要因や理由などの整理がされていれば示してほしい。次の施策を検討するうえでも必要になると思う。
- 事 務 局：要因等については、現在整理できていないため、改めて協議会でお示ししたい。

《協議結果：松本地域公共交通計画の方向性について承認》

以上